



やっと出会えた、桃太郎

誰もが知っている昔話「桃太郎」、この昔話の元になったと言われているのが岡山に伝わる「桃太郎伝説」です。しかしこの伝説、昔話とは全く異なる物語が描かれています。

昔話の桃太郎

昔々、あるところにおじいさんとおばあさんがいました。おばあさんが川へ洗濯にいくと、川上から大きな桃が流れてきました。

その桃を持ち帰り、割ってみると、中から男の子が！その男の子は「桃太郎」と名付けられ大切に育てられました。やがて、成長した桃太郎は悪さをする鬼を退治しにいきます。

道中、おばあさんお手製のきびだんごを与えて仲間にした犬・猿・雉とともに、鬼ヶ島に乗り込み鬼を退治し、宝物を手に入れて帰りましたとさ。

めでたし、めでたし。



鬼は本当に悪者？

鬼とされる温羅については色々な解釈があります。この戦いは大和と吉備の争いで温羅は一方的な悪者ではなかった、温羅は吉備に製鉄を伝えた人物だった、などなど…。また、温羅は吉備津彦命との戦いに敗れた後も人々を占いで導いてくれます。もしかすると、温羅は鬼などではなく、吉備に住む優しい人物だったのかもしれない。



おかやまは温羅でおもてなし。

温羅については色々な見方がありますが、岡山では温羅にちなんだお祭りが催されるなど、桃太郎と同じように温羅が地域の人々に愛されています。鬼とみなされた温羅の目線も大事にして、表に描かれる物語だけでなく、その裏に隠された真実、そのどちらもこのまちは温かく受け入れているのです。あなたも岡山でおもてなしにふれ、そして「うら」目線で桃太郎の本当の物語を感じてみませんか。

Column

日本遺産めぐり 現地体験コラム

桃太郎伝説が伝わるおかやま。ライターの譽田さんが、伝説ゆかりの地を巡ってきました。歴史ロマンあふれる古代吉備の世界をWEBサイトでご紹介しています！



こちらのQRから
コラムが閲覧できます



譽田 亜紀子（こんだあきこ）

ライター。奈良県橿原市の観音寺本馬土偶との出会いをきっかけに、各地の遺跡、博物館を訪ね歩き、土偶の研究を重ねている。また、各地の文化財をわかりやすい言葉で伝える仕事を多く手がける。テレビやラジオに出演するかわら、トークイベントに参加するなど文化財の魅力を発信し続けている。

著書に『はじめての土偶』（2014年／世界文化社）、『にっぽん全国土偶手帖』（2015年／世界文化社）、『ときめく縄文図鑑』（2016年／山と渓谷社）、『土偶のリアル』（2017年／山川出版）、『知られざる縄文ライフ』（2017年／誠文堂新光社）、『土偶界へようこそ—縄文の美の宇宙』（2017年／山川出版）共著『おもしろ図解き「縄文」のヒミツ』（2018年／小学館）、共著『折る土偶ちゃん』（2018年／朝日出版）がある。



桃太郎と鬼が
戦った場所なんだ！



すごい音！



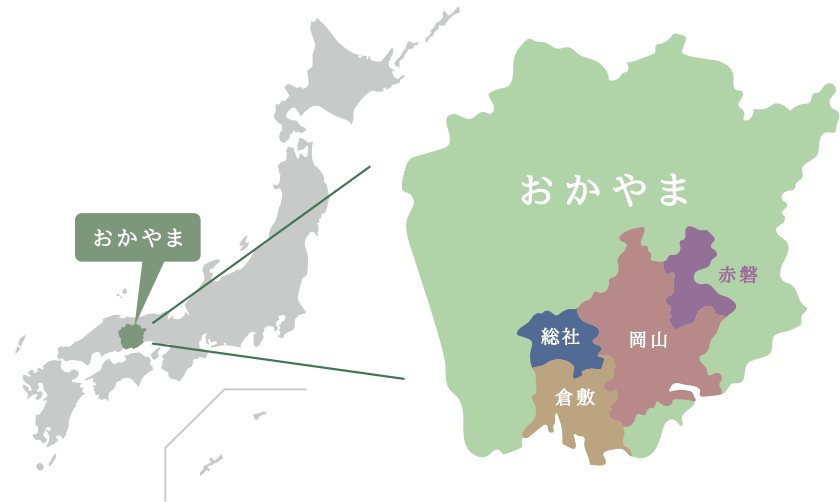
古墳の上を
あ散歩！



石室の石は
大きいなあ。

Access Guide

「おかやま」までのアクセス



✈ 飛行機

各所（札幌、東京、沖縄）
↓
岡山桃太郎空港
↓（バス 約30分）
JR岡山駅西口

🚆 新幹線

岡山駅まで

- 東京から …… 約3時間10分
- 名古屋から …… 約1時間35分
- 新大阪から …… 約45分
- 博多から …… 約1時間40分

🚗 高速道路

岡山I.C.まで

- 大阪から（中国吹田I.C.）約1時間54分
- 神戸から（神戸J.C.T.）約1時間32分
- 米子から（米子I.C.）…約1時間47分
- 高松から（高松中央I.C.）…約58分

日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま

～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～

発行：日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進協議会（2025.1）

日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま ～ 古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語 ～は、岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市の4市で構成されています。

<https://momotaro-ura.jp>

日本遺産 桃太郎伝説 検索



桃太郎伝説の
生まれたまち
おかやま

やっと出会えた、 桃太郎



おかやまは温羅でおもてなし。

鬼は本当に悪なのか。今もなお、多くの謎が残る桃太郎伝説。伝説のなかで語られる鬼「温羅」の本当の姿とは！？

